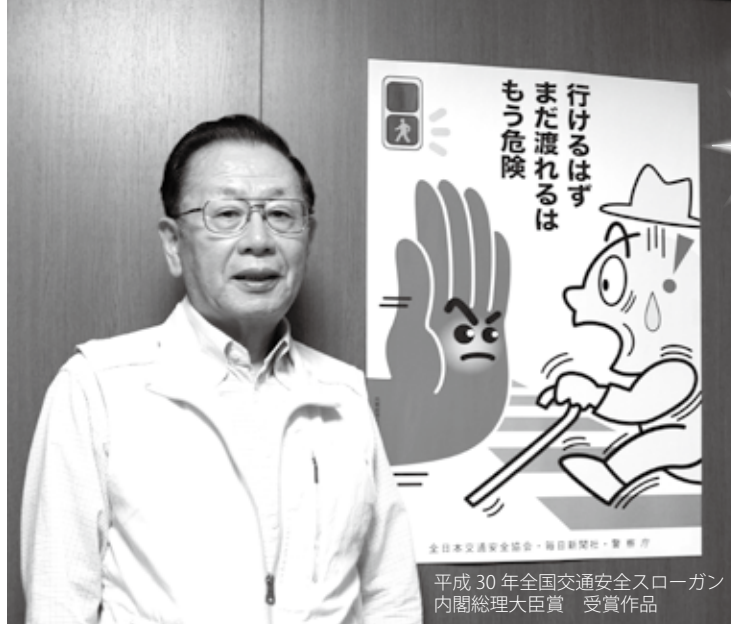


標語で内閣総理大臣賞を4回受賞

柏原町在住 村岡孝司さん



趣味の標語で社会に貢献 キーワードは「楽しむ」

趣味で標語・スローガンなどをつくり、さまざまな募集に応募する村岡さん。国内最大規模6万～7万点の応募数を誇る「全国交通安全スローガン」では日本でただ一人、4回も最高峰の内閣総理大臣賞に選ばれました。制作のコツや作品づくりを通じた生きがいについて語ってもらいました。

標語づくりを始めて48年

標語づくりにはまったきっかけは、昭和45年、氷上郡交通安全協会での交通安全標語の募集でいきなり入選したこと。その後、ハガキで手軽に応募できる標語・スローガンなどに応募するのが趣味になり、今年で48年目を迎えました。初回の入選以降は5、6年間落選が続きましたが、過去の入選作品の傾向を調べたり、分かりやすさ・覚えやすさを意識したりと、入選するコツを少しずつつかんできたような気がしています。その後、次第に入選の知らせが届くようになり、ありがたいことに近年では年間25～30回ほどの入選を果たせるようになりました。

念願の内閣総理大臣賞を獲得

現在、標語・スローガンは通算921回の入選、獲得賞状枚数は481枚になりましたが、一生に一回はとりたいたいと思っていた「全国交通安全スローガン」の内閣総理大臣賞を初めてとった時は、最高に嬉しかったです。この賞を通算4回も受賞し、少しでも社会のお役に立てたかと思うと、とても誇らしい気持ちです。遠方の地で表彰式に出席するのも良い経験でした。

大学ノート50冊にも

これまで作った標語・スローガンなどの試作・応募作は大学ノート50冊以上にもおよびます。作品を考える時はスムーズにひらめくこともありますが、長考しても満足いく作品ができないこともあります。そういう時は思い切つて外にだけ、街なかや電車内のポスターなどから新しい感覚の言葉を探し、ヒントを得ることに心がけています。苦勞して作った作品を応募できたという満足感・結果に対する期待感・達成感につながります。これは趣味を持つものにとって大変幸せなことだと思っています。

入選回数1000回をめざす

これからの目標としては、入選回数1000回、賞状500枚をとりたいと考えています。趣味を持つことで、75歳の今でも健康で、生活も充実していると感じています。今後この目標に向け、残りの人生を社会に貢献できるように標語づくりに費やしたいと考えています。丹波市政10周年のキャッチフレーズ「人かがやいて10年、夢きらめいて未来」も選んでいただいたので、「丹波市の歌（仮）」の作詞にも挑戦したいですね。

